

第2回臨時会(5月29日)

■医療制度改革

北海道後期高齢者医療広域連合が運営主体となり75歳以上を対象とする後期高齢者医療制度が4月1日よりスタートしました。

■携帯電話の不通エリアの解消

道道北見津別線の開成峠から津別町側が、8月上旬にはNTTドコモによる携帯電話のサービス提供ができるようになるとの連絡をいただき、これにより最上方面は北見市まで全線、ドコモ携帯電話による通話が可能となります。

■町民植樹祭

5月11日、町民やつべつ緑の少年団などの少年団など80人の方々の参加を得て共和町有林にカラマツの苗木400本を植えました。



■森の健康館のリニューアルオープン

昨年11月より森の健康館ホテルフォレストターの営業を休止し、町が発注していた設備及び新館内部改修工事と指定管理者が施工した本館改修工事が終了し、4月19日にリニューアルオープンしました。

■グループ制導入による機構改革

今後見込まれる職員の大量退職と職員の一層の減量化に対応するため、より簡素で効率的な組織機構を目指し、4月1日からグループ制を導入しました。

今回の改革は、係を廃止・統合して、執行機関を含めた14課35係を14課18グループとしました。

■リコーダーコンテスト全国大会

活汲小中学校の29人が、第29回全国リコーダーコンテスト大会に参加し、小学校合奏及び小学校三重奏で銀賞、中学校合奏の部で2年連続金賞、そして最高賞ともいえる花村賞を受賞しました。

■認知症予防講演会

3月13日、北海道デイサービスセンター協議会会長 大久保幸積さんを講師に、「認知症の人と家族を地域で支えよう」をテーマに講演会を開催したところ、町内外から200人の方々の参加をいただき盛会のうちに終了することができました。

高齢化社会を迎え、認知症の高齢者・支える家族が増えていく中において、町民一人一人がサポーターとなり地域のサポート体制を構築することの大切さを学んだところで

■道路クリーン作戦

5月11日、町道3号線の美幌町との町界からふれあい公園までの道路沿いを、町民約120人の参加を得て実施しましたが、今回は「北海道洞爺湖サミット・おもてなしクリーンアップ運動」の一環としても参加しました。

◎その他報告された事項

- 美幌・津別地域季節労働者通年雇用促進支援協議会
- 人事異動
- 公立高等学校適正配置計画
- 交通安全推進運動
- ジュニアトランポリン競技選手権大会
- 小学生ソフトテニス大会
- 農作物の作付け及び生育状況

第3回定例会(6月24日)

■津別峠開き

5月30日、津別観光協会の主催による峠開きと交通安全祈願祭が行われました。



今年も峠開きに先立ち、町内郵便局職員関係者12人のボランティアによる施設周辺の清掃を実施していただきました。

■津別町殉公者追悼式

6月15日、平和の碑広場において、ご遺族、ご来賓、関係者83人のご出席をいただき執り行われました。

■クリンソウまつり

6月22日、多くの皆さんが来場され、ピンクの花をバックに写真を撮るなど、大いに堪能していただきました。

なお、前日の21日には、オホーツク圏観光連盟主催による森林ウォークが開催され、10人ほどの方が上里森林公園の自然景観やクリンソウの鑑賞などを楽しまれました。

また、船橋市より石毛教育長様ほか2人、船橋・津別青少年交流協会から小石会長様ほか6人の方々の参加をいただき、今後の交流拡大について町内各関係者との意見交換を行いました。

■放課後子どもプラン事業の実施状況

本年4月からスタートした放課後児童クラブは、津別・活汲・本岐小学校区の3か所に開設しましたが、津別児童クラブでは29人、活汲児童クラブでは19人、本岐児童クラブでは10人の登録があり、5月の1日平均利用人数は津別17・8人、活汲13・5人、本岐6・8人となっています。また、登録児童以外の一般

児童についても、津別では1日平均17・4人の利用があります。

なお、放課後子ども教室は、自然文化教室等5コースに66人が登録されています。

■多目的運動公園パークゴルフ場の整備

5月20日、パークゴルフ協会の皆さんによるバンカーの整備、5月27日には、いちい、つつじ等47本の苗木を協会員が持ち寄り植栽をしていただきました。ご奉仕に深く感謝申し上げます。

■農作物の生育状況

この間の低温による生育への影響が懸念されましたが、6月15日現在、網走農業改良普及センター美幌支所の作況調査では、秋まき小麦、馬鈴しょ、てん菜がそれぞれ2日から3日早く、その他の作物は平年並となっています。

また、6月11日、北見地域から斜網地域の広範囲にかけた降雪とそれに伴う短時間の豪雨により農作物は大きな被害を受け、本町においても、二又地区で小豆・大豆・てん菜の一部に降雪被害を受け、被害見込面積6haと報告したところでした。

◎その他報告された事項

■寄附 ■建設工事等の発注状況

委員会活動

常任委員会 特別委員会

各常任委員会・特別委員会は議会の閉会中も委員会を開催し、所管事務について協議しています。

総務文教常任委員会

第3回（5月21日）

・ 条例の一部を改正する条例の制定について

・ 津別高等学校振興対策について

第4回（6月11日）

・ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

・ 監査委員条例の一部改正について

・ ふるさと納税基金条例の制定について

・ 過疎地域自立促進市町村計画（後期）の一部変更について

・ 北海道備荒資金組合理約の一部改正について

・ 手数料徴収条例の一部改正について

産業福祉常任委員会

第2回（5月20日）

・ 地域公共交通活性化再生総合事業について

・ 丸玉産業森づくり基金の設置、管理

及び処分に関する条例（仮称）の制定について

・ 共和町有林隣接民有地の取得について

いて

・ 国民健康保険税条例の一部改正について

第3回（6月10日）

・ 町内視察結果について

・ 活汲農業集落排水施設汚泥減量化システム導入について

・ 丸玉産業森づくり基金条例の制定について

いて

・ 過疎地域自立促進市町村計画（後期）の一部変更について



議会運営委員会

第4回（5月12日）

・ 議員定数、議員歳費の見直しについて

・ 類似町の視察について

・ 住生活基本計画策定委員会委員の選出について

第5回（5月26日）

・ 第2回臨時会の運営について

・ 議員定数、議員歳費の見直しについて

第6回（6月12日）

・ 議員定数、議員歳費の見直しについて

・ 議会委員会条例の一部改正について

・ 議会事務局設置条例の一部改正について

第7回（6月19日）

・ 第3回定例会の運営について

・ 意見書の取扱いについて

第8回（6月24日）

・ 第3回定例会の運営について

議会広報特別委員会

第15回（7月17日）

・ 議会報124号の編集について

議会日誌

5月

- 12日 議会運営委員会
- 19日 総合開発期成会定期総会（網走市）
- 20日 産業福祉常任委員会
- 21日 総務文教常任委員会
- 23日 管内町村議長会定期総会（訓子府町）
- 26日 議会運営委員会
- 29日 第2回津別町議会臨時会

6月

- 5日 道町村議会議長会定期総会（札幌市）
- 9日 斜網ブロック正副議長会議（大空町）
- 10日 産業福祉常任委員会
- 11日 総務文教常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 19日 議会運営委員会
- 24日 議会運営委員会
- 24～25日 第3回津別町議会定例会

7月

- 1～2日 道町村議会議員研修会（札幌市）
- 17日 議会広報特別委員会

地方財政の充実・強化を求める意見書

- ◆提出先 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣
財務大臣 経済産業大臣
経済財政政策担当大臣

地域医療の確保に関する意見書

- ◆提出先 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣
総務大臣 文部科学大臣

津別町の財産といえど、約6万2千坪に及ぶ広大な森林がある。近年、この森林の持つ癒しの効果が注目を集めている。具体的には、高血圧、ストレス性疾患、がん予防などに効果があるといわれている。津別にはクリンソウ群生地である町民の森をはじめとして、たくさんの素敵な森がある。昔は木材のストックヤードとしての存在であった森林は、今、CO₂の吸収源や山の保水タンクとしてなど、様々な機能が認められている。今や漁業組合が津別町に植林に来る時代である。森林セラピー効果を持つ森、澄んだ空気、おいしい水、このすばらしい自然環境の中で、生き生きと暮らしたい、子育てをしたい、老後を楽しみたいと思うのは私だけではないだろう。7月から「津別町第5次総合計画」の策定が始まる。住民の皆さんと、行政、議会が議論を尽くし、手を携えて、「愛林の町」として自然と共生する、次世代に胸を張れるまちづくり計画を作っていきたいものである。（佐藤）

意見書

関係行政庁へ
提出しました

国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書

【要旨】森林整備を推進していくためには、森林所有者の森林経営意欲を創出するための施策の推進はもとより、民間による整備が困難な水源林等公益森林の整備に対する公的機関の役割の強化、さらには過疎化・高齢化が進む中で、森林・林業の担い手である山村の再生に向けた積極的な取り組みが極めて重要となっています。

今後の林政の展開に当たっては、森林吸収源対策の推進はもとより、特に、国有林野事業等において、安全で安心できる国民の暮らしを守るために、重要な役割を果たす水源林等公益森林の整備、地域林業・木材産業の振興を通じた山村の活性化に十分に寄与できるよう、平成21年度予算等においての施策展開について強く要望します。

記

1. 森林吸収源対策を着実に推進するため環境税等税制上の措置を含め安定的な財源を確保するとともに、林業・木材産業の振興施策の推進と森林所有者の負担軽減措置による森林経営意欲を創出する施策を講ずること。（以下省略）

- ◆提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
財務大臣 農林水産大臣 経済産業大臣
環境大臣 林野庁長官

北海道開発の直轄整備体制堅持に関する意見書

- ◆提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
総務大臣 財務大臣 農林水産大臣
国土交通大臣
地方分権改革推進委員会委員長

2009年度国家予算編成における義務教育無償、義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率二分の一復元等教育予算の確保・拡充を求める意見書

- ◆提出先 内閣総理大臣 文部科学大臣 総務大臣
財務大臣

はぐるま

— 歯車 —

津別町の財産といえど、約6万2千坪に及ぶ広大な森林がある。近年、この森林の持つ癒しの効果が注目を集めている。具体的には、高血圧、ストレス性疾患、がん予防などに効果があるといわれている。津別にはクリンソウ群生地である町民の森をはじめとして、たくさんの素敵な森がある。昔は木材のストックヤードとしての存在であった森林は、今、CO₂の吸収源や山の保水タンクとしてなど、様々な機能が認められている。今や漁業組合が津別町に植林に来る時代である。森林セラピー効果を持つ森、澄んだ空気、おいしい水、このすばらしい自然環境の中で、生き生きと暮らしたい、子育てをしたい、老後を楽しみたいと思うのは私だけではないだろう。7月から「津別町第5次総合計画」の策定が始まる。住民の皆さんと、行政、議会が議論を尽くし、手を携えて、「愛林の町」として自然と共生する、次世代に胸を張れるまちづくり計画を作っていきたいものである。（佐藤）